

スポーツでの怪我の治療



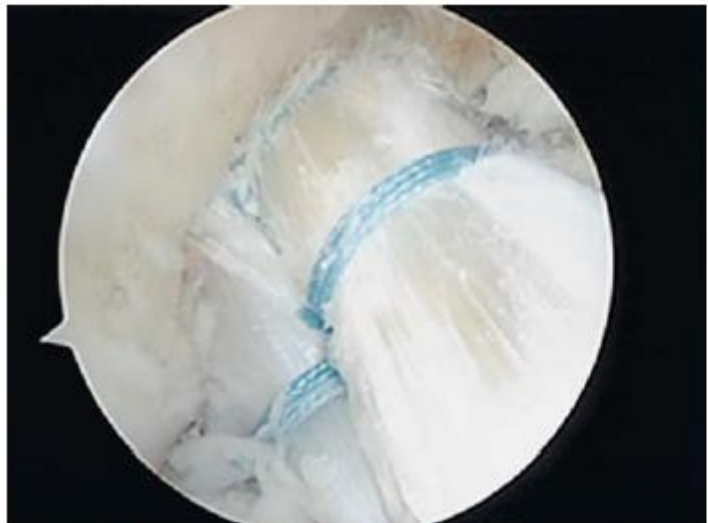
ヘルス&ケア

自動車産業人向け

⑥ 膝前十字靭帯断裂(ACL)の治療

断裂したACLはギブス固定や手術での縫合術を行っても殆ど元に戻りません。そのため適切な時期に靭帯の代わりとなるように他の部位から靭帯を採取して、その靭帯を移植する再建術が行われます。怪我したばかりの時期は膝関節の運動制限があり、その時期にさらに手術の侵襲を加える

と、膝が伸びなくなる危険があります。そのため初期にはリハビリを行い十分膝の可動域を獲得してから行う必要があります。3週間以降になることが多いようです。本来の靭帯はそれぞれの骨表面に付着していますが、移植する靭帯は骨表面に接合することができません。そのため



関節鏡写真で撮影した移植した靭帯。靭帯を糸でまとめている

移植靭帯のサイズ分のトンネルを骨に作り、靭帯をその中に埋め込みます。骨は削られた後新しい骨を作るので、その新しい骨と移植した靭帯が癒合して靭帯として固定されます。ただし、すぐには骨ができませんので、8週間は保護の為に歩行は禁止です。

移植する両端は太い糸で連結されており、その

膝関節のリハビリ後に靭帯移植

の糸を固定する為に金属のスクリューとボタンを設置します。その金属はチタン製であり、あえて除去しなくも人体に影響はなく、MRI撮影も行えます。飛行場の金属探知機は鳴りません。

手術後のリハビリは施設により異なり、1週間で松葉杖が取れるところから4週間使用する施設もあります。そのため入院期間も施設により異なります。走るのは2〜4カ月後となり、種目に合わせた練習の参加は6カ月が目安です。復帰に時間がかかりますが「膝崩れ」を繰り返しながらスポーツを継続すると半月を損傷し、次第に関節軟骨が損傷し痛みが取れなくなりま

す。現在は年齢やスポーツレベルに拘わらず安定した手術成績が得られているので適切な時期に再建手術を受けることをお勧めします。ただし、難易度の高い手術なので、一定数の手術経験がある施設での治療が良いでしょう。入院治療費用は高額医療の対象になります。

(稲波脊椎・関節病院 内山英司副院長)
http://www.iwai.com/inanami-sekitsui/